

小学生向け

夏のおすすめ図書

☆のかすが おおくなるほど、
もじのかずやないようが
たっぷりです。

多可町図書館



『あそぼうよセイウチ』

佐々木マキ／作

絵本館 (Eさ) ☆

あるひ にわしがにわで しごと
をしていると そこにはおおきな
セイウチが まよいこんでいまし
た！ このセイウチは どうぶつ
えんからきたの？ うみからきたの？ もとのばしよに
かえしてこいと言われた にわしのむすめは セイウチ
といっしょに どうぶつえんや うみにむかって しゅっ
ぱつします。



『図書館の怪談
ナツカのおばけ事件簿』

斉藤洋／作

あかね書房 (K913 サ) ☆

しゅじんこうのナツカはパパと
いっしょに「おばけたいじ屋」を
やっています。今回いらいがあつた
しりつとしょかんは少し前にできた新しいとしょかん
でした。ほとんどのとしょかんいんが帰る、1 人でと
しょかんのにこっているとおばけがあらわれるのだそう
です。ナツカとパパはこのじけんをかいけつできるので
しょうか。



『くまのごろりんと川のひみつ』

やえがしなおこ／作

岩崎書店 (K913 ヤ) ☆

すいしゃ
水車ごやにすむ、くまのごろ
りん。なつのあさ、なかよしの 水
車のごとんに わかれをつけ、川
のはじまりを みつけるたびに で
ました。じょうりゅうにむかうにつれ、川はだんだん ほ
そくなっていきます。きけんな がけをこえ、やっとの
ことで川のうまれるばしよに たどりついた ごろりん
は、そこで一人の子どもに であいます。



『もりのへなそうる』

わたなべしげお／作

福音館書店 (K913 ワ) ☆

てつたくんとみつやくん兄弟が
もりなかで出あったのは、体が赤と
黄色のしまもようをしたへなどう
ぶつ、へなそうるでした。へなそう
るはとってもくいしんぼう。てつたくんたちのおにぎり
やドーナツをむしゃむしゃたいらげます。素直でやさし
い ゆかいなへなそうると、てつたくんたちが こころゆ
くまで遊ぶおはなしです。



『エルマーのぼうけん』

R・S・ガネット／作

福音館書店 (K933 カ) ☆

エルマーは、としとったのらねこ
から おそろしいもうじゅうがいる
どうぶつ島の はなしを ききます。
なんと そこには、りゅうの子ども
が とらわれていると いうのです。エルマーは、ねこに
もっていくものを おしえてもらい、りゅうの子を
たすけるための ぼうけんへと でかけます。あなたも
このなつ、エルマーと ぼうけんを してみませんか？



『ふしぎな500のぼうし』

ドクター・スース／作・絵

偕成社 (Eト) ☆☆

あるひ まちにでかけた バーソロ
ミュー。そこへ ばしやにのった王
さまが とおりかかりました。バーソ
ロミューは ぼうしをとるのですが
ふしぎなことに ぼうしは とっても とっても 頭のう
えに…。おこった王さまは バーソロミューを しろへ連
れて行き 何とか このぼうしを とらせようと てをつく
しますが…。



『ちいさいうち』

バージニア・リー・パートン／文と絵

岩波書店 (Eハ) ☆☆

静かないなかにしっかりじょ
うぶに建てられたちいさいおう
ちがありました。ちいさいおうち
はあたりの自然をながめながら暮らしています。ある
日、いなかのまがりくねった道を自動車が走ってきま
す。それからまもなく広い道路もできあがり、まわりが
大きな街になっていきます。ちいさいおうちは 昔の自
然をなつかしく思います。



『なるほど忍者大図鑑』
ヒサクニヒコ／絵・文
国土社（K789 ヒ）☆☆

にんじゃ とくべつ くんれん う
忍者は、特別な訓練を受けた
しゅうだん かつどう ひみつ
集団です。活動が秘密だったため、
じつ きろく のこ
実は忍者の記録がほとんど残ってい
ません。しかし、れきし
歴史の記録をよく見
ると忍者が活躍していたことがわかります。この本に
は、忍者が使う術や武器、特別な道具が紹介されてい
ます。また、忍者の仕事をしていない時の生活の様子な
ども知ることができます。



『森のとしょかんのひみつ』
小手鞠るい／作
金の星社（K913 コ）☆☆

きょうは、おお おお もり
きょうは、大いそがし。森のとしょ
かんの ほん をせいりし、あた
かんが オープンします。新しいとしょ
かんが オープンします。一か月すぎ
たある日、りすのきょうだいが たず
ねてきます。かんちよう
館長にある本をおすすめしてもらいます
が、どこを探しても見つからず、かしたし記録を見
ても 分かりません。その本は、いったい どこにいつてし
まったのでしょうか？



『ロックフォール団のねずみたち』
サンディ・クリフォード／作・絵
徳間書店（K933 ク）☆☆

ねずみのニコルは、もとくじん としと
たねずみとふたごの子ねずみと一緒
にくらしていました。ニコルはいつも
のようにふたごをつれて公園に行き
ました。ところが、め
目をはなしたすきにふたごは、おそ
ろしいかいぶつねこが住むという「野いちご原っぱ」へ
行ってしまったのです。ニコルはふたごを探しに行くの
ですが…。



『子どもお悩み相談会』
角田光代ほか／著
中央公論新社（K159 カ）☆☆☆

「人として沈黙が続くと焦ります」
や「夏休みの宿題、ギリギリやる派は
ダメ…？」などなど、こどもたちのモ
ヤモヤに人気作家7人が自分の経験を交えながら楽し
く迷回答。質問に対してスッキリするかは別として、
自分と同じような悩みを他の人だてて経験をしてい
るんだなと思うと何だかほっとするのではないでしょ
うか。



『星座を見つけよう』
H・A・レイ／文・絵
福音館書店（K443 レ）☆☆☆

みなさんは、自分の星座を知ってい
ますか？その星座を実際に、夜空に見
つけたことはありますか？この本は
「おさるのジョージ」の作者H・A・
レイが、どうやって星を見分け、星座を見つけ出せるか
をととてもわかりやすく教えてください。この夏は、星の
ことを知って、たくさんの星をながめ、星座を探してみ
ませんか？



『ジュリアス・シーザー』
ウィリアム・シェイクスピア／原作
小田島雄志／文
汐文社（K932 シ）☆☆☆

ジュリアス・シーザーはローマで
どくさいてき けんりよく せいしか
独裁的な権力をもつ政治家でした。そ
して彼のそばにはブルータスやアント
ニーという青年が仕えていました。中でもブルータスは
シーザーから我が子のように愛されていました。ところ
が密かにシーザーを暗殺する計画がすすめられ、ブル
ータスもその計画に加わり悲劇が始まります。



『レモンの図書室』
ジョー・コットリル／作
小学館（K933 コ）☆☆☆

5歳の時に母親をがんで亡くした
カリプソは、大好きな本を読むことで
心の安定を保ってきました。そんな
ある日、同じく本好きな女の子・メ
イが転校してきて、カリプソの毎日は大きく変わり始め
ます。少女の繊細な心の動きが、素直にみずみずしく描
かれています。カリプソが読んだ本の一覧は、これから
の読書の参考にもなりますよ。



『名探偵カッレくん』
アストリッド・リンドグレーン／作
岩波書店（K949 リ）☆☆☆

カッレは名探偵になることを夢見
る少年。しかし、彼の暮らす街はい
たって平和。ある夏の日、友達のエー
ヴァ・ロッタの家に親戚のエイナルお
じさんがやってきます。おじさんはどこでも開けられる
鍵を持っていたり、夜中にこっそり出かけたりと怪し
く、カッレは友達と一緒に捜査に乗り出します。それが、
やがて警察を巻き込んだ大事件に…。